

## ㊦創立80周年 おめでとう！

### －「岸中愛」－

校長 山浦 麻紀



赤いバラ

花言葉・・・「愛」

「ハーレルヤ♪ ハーレルヤ♪」 ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル

岸中生は、ハレルヤで入学し、ハレルヤで卒業します。

9月19日(土)3年生、2年生、1年生が「岸中愛」の気持ちを一つにして歌い上げた「ハレルヤ」。文化センターの大ホールを揺らし、参加した皆さんの心を思いきり震わせてくれました。

感動です！ありがとう！お見事！！保護者の方も教職員も、卒業生も地域の方も来賓の方からもお言葉をいただきました。「岸中生のハレルヤ、最高です！ 子どもたちも最高です！」

当日の挨拶の一部を掲載させていただきます。併せて、式典および文化祭にかかる全ての方々に深謝いたします。

本日、創立八十周年記念式典の開催にあたり、本校学校運営協議会委員の皆様方、歴代の校長先生方、地域や卒業生の方々、多くの御来賓の方々に御臨席を賜りますとともに、保護者の皆様にも御列席をいただき、このように盛大に式典が挙行できますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、本校は、昭和22年4月1日、戦後の新教育制度のもと、「新制中学校」として開校いたしました。それ以来、皆様の御支援を賜りながら、地域とともに発展し、そして歴代の教職員・卒業生のたゆまぬ努力によって、今日まで歩み続けてまいりました。80年という歳月の、その一つひとつの積み重ねが、現在の誇りうる岸中学校の姿や形となっているものと思います。

80年の節目の年にあたり、私たち教職員一同、改めて「学びの場」としての学校の使命を見つめ直し、「岸中愛」を胸に、未来を担う子どもたちの育成に全力を尽くす所存でございます。

本校の教育は、長きに渡り、知識の習得だけではなく、人としての成長を大切にまいりました。初代校長が示し、歴代の校長がつないだ岸中の校訓「気品の岸・美の学園」は、まさにこのことを示しております。お陰様で本校生徒は、誰一人取り残すことなく時代の変化に柔軟に対応しながら、100年人生 Well-being になるように、人生をデザインできる人間へと成長してくれていると、教職員一同、誇らしく思っております。そして、次の節目となる90周年、さらにはその先の未来に向けて、希望をもって前へ、前へ進んでまいりたいと思います。

改めて、生徒の皆さん、皆さんが今日ここ、文化センターでお祝いができるのも、偉大なる80年の歴史、そして周りにいらっしゃる多くの方々のお陰があるからこそです。あいさつ日本一の自慢の岸中生。今日は、「ありがとうございます」の感謝の心をもって、思いっきり楽しみながら、声で、歌で、行動で、示してまいりましょう。「もっと 岸中 前へ！」

結びになりますが、この記念式典を開催するにあたり、さいたま市並びに市教育委員会、創立八十周年実行委員会の皆様方、さらには地域の方々をはじめとする関係の方々、保護者の方々に深く深く、感謝申し上げますとともに、本日御参会の皆様方の今後とも変わらぬ御指導・御鞭撻をお願い申し上げ、あいさついたします。

令和8年9月19日

さいたま市立岸中学校 校長 山浦 麻紀